

# 調査報告書



令和7年11月17日

小牧市議会議長 様

会派名 牧政会  
代表者氏名 河内 伸一

調査を行いましたので、その結果を報告します。

## 記

### 1 調査日

令和7年11月12日（水）から14日（金）

### 2 調査先及び調査項目

#### 12日（水）

（1）調査先： 北海道北斗市  
（北斗市中央1丁目3-10）  
調査項目： ふるさと納税について

#### 13日（木）

（2）調査先： 北海道八雲町  
（二海郡八雲町住初町138）  
調査項目： ふるさと納税について

#### 14日（金）

（3）調査先： 北海道函館市  
（函館市若松町20-1キラリス函館3F）  
調査項目： はこだてみらい館について

### 3 参加議員

河内伸一、小島倫明、鈴木裕士、佐藤悟、阿部哲己、  
余語智、永井孝典

### 4 調査内容

別紙のとおり

#### 【北斗市】

##### ① 日時

令和7年11月12日（水） 14時00分から15時15分まで

##### ② 訪問先 北斗市

（会議場所：第4委員会室）

##### ③ 説明者 北斗市総務部企画課長 土手貴志

議会事務局長 大井川かおり

##### ④ 調査項目 ふるさと納税について

##### ⑤ 視察先の選定理由や目的

ふるさと納税制度は、平成20年(2008年)から始まった。生まれ育った故郷や応援したい自治体に、税金を通じて貢献できるようにすることを目的として始まったものである。また、都市部への人口集中などによる地域間の税収格差を是正する狙いもある。

市町村は財源確保のため、様々な返礼品にも工夫を凝らしながら、現在取り組まれている。本市においても、令和6年度の寄付件数63,174件、寄付金額約16億円もの寄付をいただき、様々な事業費の一部に活用しているところである。

そこで、北斗市では、地元農産物を中心とした返礼品をプロスポーツ選手にPRしてもらったり、テレビで紹介するなど積極的に寄付額獲得に向け展開されていることから、現在の状況を把握、調査するため北斗市を選定した。

## ⑥ 視察項目の概要説明

(導入経緯・内容・実施状況・効果・課題等)

### ○経緯及び内容

#### ▶北斗市のこれまでの経緯

- ・平成20年度から令和元年度までは、各自治体での過当な返礼品競争に一步引いた見方でいた。ただし、市民が他市町寄付による、市税控除額が市への寄付額を上回ることがないように注視はしていた。
- ・令和2年度からは、国による返礼品ルールの統一化を受け、市として本腰を入れるようになった。
- ・令和5年度からは、国による経費ルールの厳格化を受け、本格的に参入した。
- ・令和6年度からは、当面の目標額を4億円とし、さらに将来的な目標額を10億円として展開している。

#### ▶近隣自治体のふるさと納税額(令和6年度実績)

|   |      |              |
|---|------|--------------|
| 1 | 森町   | 22億7,231万4千円 |
| 2 | 函館市  | 22億2,226万円   |
| 3 | 八雲町  | 17億7,748万3千円 |
| 4 | 鹿部町  | 11億8,963万3千円 |
| 5 | 知内町  | 3億9,438万1千円  |
| 6 | 長万部町 | 3億4,321万9千円  |
| 7 | 北斗市  | 2億5,798万1千円  |

近隣の中では、7番目となっているが、毎年右肩上がりとなっており、4番目以内の10億円以上の仲間入りを目指している。

#### ▶北斗市が税控除した額との比較

令和6年度の北斗市へのふるさと納税=257,981,000円 ①

令和6年度に北斗市が要したふるさと納税に係る経費=116,188,829円 ②

令和6年度に北斗市民が他自治体に寄付したふるさと納税=115,152,900円

令和7年度の北斗市民の市民税控除額=54,470,574円 ③

①－②－③＝＋87,321,597円 黒字を確保している。

▶寄付額の使い道

・「第2期北斗市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に記載された4つの基本目標に基づく施策や事業に活用している。

【基本目標1】北海道新幹線を活かした産業の振興と雇用の場をつくる

◇高校生合同企業説明会等労働者支援事業 6,952,684 円

市内の人材確保のため、高校生に対し、市内企業の魅力を発信する説明会を年2回開催している。

【基本目標2】北斗市らしさを活かして人を呼び込み、呼び戻す

◇ずーしーほっきー活用情報発信事業 4,194,852 円

市の公式キャラクター「ずーしーほっきー」を活用し情報発信を行う。

※「ずーしーほっきー」は、特産品のホッキ貝と寿司を組み合わせたもの

◇空き家バンク利活用事業 8,200,000 円

◇UIJ ターン奨学金償還支援事業 5,497,000 円

◇シティプロモーション事業 1,550,000 円

QRコードを活用して、ずーしーほっきーの画像が動く仕掛けがしてある。

【基本目標3】子どもを生み、育てたいという希望をかなえる

令和6年度はふるさと納税は、あてていない。

【基本目標4】住み続けたいという暮らしの環境をつくり守る

通学定期券購入助成事業 7,685,290 円

通学定期券の補助を行っている。(補助率 20%～30%)

▶返礼品の主な上位(令和6年度)

|   | 返礼品                | 寄付件数    | 寄付額       |
|---|--------------------|---------|-----------|
| 1 | トラピストバター3個セット      | 1,721 件 | 30,976 千円 |
| 2 | ゆめぴりか・ななつぼし・ふっくりんこ | 1,511 件 | 20,730 千円 |
| 3 | 玄米ゆめぴりか・ななつぼし      | 1,364 件 | 27,517 千円 |

▶令和 6 年度、7 年度から加わった主な新返礼品

- ・えぞ鹿肉堪能セット・・・ハンターらが解体する工場を作り、そこで冷凍パック詰めを行っている。
- ・大野農業高校ワイン・・・農業高校の生徒が育てているブドウから作られている。
- ・マルメロリキュール・・・補助金を活用して作られたもの。
- ・トマトジュース・・・トマトは、北海道で 4 番目の収穫量である。
- ・文月ワイン・・・北斗市内のブドウを活用したワイン。

▶納税額増加に向けた取り組み

◇令和 5 年度までの取り組み

- ・寄付者に北斗市の風景付きのお礼状を送付していた。
- ・市外への発送封筒に、北斗市のふるさと納税 P R 情報を印刷した。
- ・市内外のイベントでの P R や移住専門誌「北海道生活」への掲載。
- ・中小企業競争力向上事業補助金に「ふるさと納税返礼品開発事業」枠を追加した。(補助率 2/3 補助額 50 万円以内)

◇令和 6 年度からの取り組み

- ・ポータルサイトを 3 から 11 に増加した。
- ・これまで所管していた企画課に加え、市内企業、事業者との太いパイプを持つ水産商工労働課が連携することにより、登録事業者及び登録返礼品を新規開拓した。事業者が 49 から 64 に増加、返礼品は 206 から 333 に増加した。
- ・イベントやスポーツ合宿などで来訪される有名人やプロスポーツ選手に、SNS 等で情報発信を依頼している。
- ・検索連動型広告を活用した。これは、例えばポータルサイト利用者が、「ふるさと納税 北海道 バター」と検索すると北斗市のトラピストバターが上位に検索表示される仕組みである。効果的な手法なので、令和 8 年度予算には、広告費の増額要望する。
- ・新パンフレットの作成  
初年度は、事業者の業務の範囲内でパンフレットを作成していただいた。

## ▶企業版ふるさと納税

- ・企業からの寄付件数は、まだ発展途上だが、企業側のメリットなども伝えながら、増やしていきたいと考えている。
- ・北斗市では、令和7年度をもって合併特例債が終了し、過疎債適用自治体でもない北斗市にとって大規模事業を実施する財源がなく、企業版ふるさと納税に期待するところは大きい。
- ・国営かんがい排水事業があるが、事業費は130億円。北斗市の負担が13億円となっている。これは、北斗市の二つダムのうち上磯ダムが、水不足になる傾向にあるため、大野ダムにつなげて水を融通できるようにする事業である。この事業を展開していかないと、農産物等に影響が出てくるので、北斗市では大変危惧するところである。

## ○課題

- ・北海道新幹線ができると観光客は増加しても、住民の増加がない。
- ・企業版ふるさと納税をいかに効率的に確保していくのか。
- ・漁獲量減少の影響が大きい。
- ・北斗市にいかに目を向けてもらえるのか創意工夫を要する。

## ⑦議員からの主な質疑

質1 令和6年6月に「ザ・鉄腕・DASH」にて、北斗市の特産品が紹介されたが、どのような経緯で紹介することとなったのか。

答1 近隣市での取材のタイミングで、北斗市に何かPRするものはないかとTV局側から話があった。

質2 ゆめぴりか、ななつぼし、ふっくりんこのお米があるが、夏の暑さに強い品種なのか。

答2 夏の暑さに強いお米は、現在品種改良中である。

質3 企業版ふるさと納税は、同一企業が多いのか。

答3 同じ企業からが多い。北海道新幹線の工事を請け負っているゼネコンからもいただいている。

#### ⑧ 議員の意見

- ・ふるさと納税の当初から、市税控除額が市への寄付額を上回ることがないよう注視しながら、展開されている。
- ・高校生へ市内企業説明会をするなど、人材確保に向け計画的に実施されている。
- ・気候変動による夏の暑さにも強い米の品種改良をするなど、返礼品を増やすよう努力されている。
- ・検索連動型広告を活用し、いかにして北斗市へ導いていくのかを考えて実施されている。
- ・近隣市の寄付状況を常に意識して、事業展開されている。

#### ⑨ 考察（小牧市への反映）

北斗市は、人口約 43,000 人、一般会計予算 241 億で、比較的小さな市ではあるが、ふるさと納税制度を有効的に活用するとともに、寄付額 10 億円以上を目指すという、しっかりした目標をもって取り組まれている。

返礼品の増加については、中小企業競争力向上事業補助金に「ふるさと納税返礼品開発事業」枠を追加され、今後さらに、返礼品の増加が見込まれるものとする。

本市においても、目標をしっかりと立て、それに向かって様々な創意工夫を凝らし、ふるさと納税の確保に努めることが肝要である。

【八雲町】

① 日時

令和7年11月13日（木） 10時40分から11時55分まで

② 訪問先 八雲町役場

（会議場所：議員控室）

③ 説明者 商工観光労政課長 井口貴光、商工観光係長 富樫佑允  
議会事務局長 野口義人

④ 調査項目 ふるさと納税について

⑤ 視察先の選定理由や目的

ふるさと納税制度は、平成20年(2008年)から始まった。生まれ育った故郷や応援したい自治体に、税金を通じて貢献できるようにすることを目的として始まったものである。また、都市部への人口集中などによる地域間の税収格差を是正する狙いもある。

市町村は財源確保のため、様々な返礼品にも工夫を凝らしながら、現在取り組まれている。本市においても、令和6年度の寄付件数 63,174 件、寄付金額約16億円もの寄付をいただき、様々な事業費の一部に活用しているところである。

そこで、八雲町では、農産物を中心とした返礼品の拡大や返礼品提供事業者との勉強会を令和6年度から実施されるなど、ふるさと納税の推進を図られていることから、現在の状況を把握、調査するため八雲町を選定した。

## ⑥ 視察項目の概要説明

(導入経緯・内容・実施状況・効果・課題等)

### ○ 内容

#### ▷ 寄附件数・寄附金額(過去5年間)

| 年度    | 寄附件数     | 寄附金額        |
|-------|----------|-------------|
| 令和2年度 | 102,248件 | 19億3649万3千円 |
| 令和3年度 | 144,359件 | 25億2147万8千円 |
| 令和4年度 | 91,173件  | 18億76万4千円   |
| 令和5年度 | 197,366件 | 34億4814万7千円 |
| 令和6年度 | 106,317件 | 17億7748万3千円 |

- ・近年の寄附件数は、多い少ないはあるものの横ばいである。
- ・令和7年4月から11月までの寄附額は、3億7千万円で激減している状況である。
- ・令和6年度の実績をみると、返礼品の上限は、全寄附額の上限30%と決められている中、八雲町は24.98%である。

返礼品の送付に係る費用、広報費用、決済に係る費用は、8.84%、事務費は、15.62%である。

このことから、ふるさと納税の募集に要した費用割合は、全寄附額の49.44%(上限50%)となっている。

#### ▷ 寄附金の使い道

- ・八雲の自然と調和する安心・安全な都市基盤整備
- ・八雲の豊かな資源を活用した産業振興
- ・誰もがいきいき暮らせる健康・医療・福祉の推進
- ・ふるさとを築く教育の充実と文化・スポーツの振興
- ・八雲の自立を実現する協働と行財政運営
- ・医師招へいプロジェクト
- ・熊石地域水産試験プロジェクト
- ・「北海道木彫り熊発祥の地・八雲」歴史と文化財保存活用プロジェクト
- ・サーモン試験養殖プロジェクト
- ・町長が必要と認める事業

▷返礼品のジャンル別構成比(令和6年度)

- ・海産物 94.64% いくら、毛ガニ、明太子など
  - ・肉 4.58% ハ雲牛、北里ハ雲牛など
  - ・その他 8.07% セット品、定期便、乳製品、宿泊割引券など
- このように、地の利を活かした海産物が中心となっている。

▷これまでの取り組み内容

・令和6年11月からInstagramを開始し、ハ雲町の雪情報などを発信するなど、ハ雲町に興味を持っていただく仕掛け作りにも取り組まれている。

・「ハ雲町レビューキャンペーン」では、返礼品の口コミを書いていた方に、お菓子の「milky」をプレゼントとして送付している。

※「milky」はハ雲町の乳牛を原料として作られている。

・「サイト別特化型寄附金額の設定」では、楽天ふるさと納税及びふるなびの2サイトで、寄附額を低く設定するなど他のサイトとは違う案内の仕方を行っている。

・返礼品提供事業者との勉強会を令和6年度から実施している。ふるさと納税制度、制度改正、中間代行業者による返礼品の作り方、魅せ方に関する講演などを年2回程度行っている。

▷ハ雲町の課題

・寄附額が大きく減少した要因としては、サケ等の漁獲量が大幅に減少したことによる。また、毛ガニにおいては、ルールの厳格化による地場産品不適合となった影響も大きい。

・返礼品の配送において、関東や九州への配送料を中部からの配送料と比較すると、運賃差が520円、1,150円となるため、配送料を圧縮する必要がある。対策として、中間地点のアマゾンの倉庫へいったん保管してから、配送することとした。それでも、800円程度の圧縮しかできない状況にある。

⑦ 議員からの主な質疑

質 1 熊石地域で海洋深層水を加工してアイスクリームに取り組んでいたが、現在はどのような状況なのか。

答 1 現在は、アイスクリームは行っていない。海洋深層水を加工して、塩作りに取り組んでいる。

質 2 町内にある北里大学の酪農とも返礼品で連携しているが、どのような品を扱っているのか。

答 2 肉やジャーキーなどにして返礼品として取り扱っている。

質 3 自治体の中には、花火の観覧席を有料化しているところもあるが、そのような返礼品はないのか。

答 3 現在、体験型の返礼品はない。一時期、山車行列に参加できるという体験型返礼品を行っていた。今後、木彫り熊の体験を返礼品にすることを検討している。

質 4 返礼品に、セット品があるがどのようなものか。

答 4 セットとして「いくら＋明太子」や「米＋肉」などである。

質 5 返礼品に、宿泊割引券があるがどのようなものか。

答 5 ハ雲町内のみ宿泊割引になる。もちろん、町内のおぼこ荘も利用できる。

質 6 今後、新たな取組の考えは何かあるのか。

答 6 返礼品を自然のものに頼っていたが、今後は自然に左右されにくいものも検討していく必要性を感じている。

⑧ 議員の意見

・返礼品を地元の農産物を中心として実施できることは、とても農林水産業の振興に寄与している。

・自然のみを頼りにしていると、漁獲量減少等の影響を受けることもあるので、自然以外のものにも目を向け、寄附額の安定化を図る必要もあるだろう。

⑨ 考察（小牧市への反映）

小牧市と友好都市である八雲町は、人口約 14,000 人、一般会計予算 155 億で比較的小さな町ではあるが、地の利を生かし、水産物を中心としたふるさと納税に取り組まれている。

しかしながら、令和 7 年 4 月から 11 月の寄附額が 3 億 7 千万円となり、例年と比較すると大幅に減少した。これまで、自然という資源を中心に返礼品としていたが、その体制が雪崩のごとく崩れた。

今後は、自然資源以外のところにも視野を広げながら、ふるさと納税を確保し、町民の安定した生活を保持していく必要があるだろう。

また、令和 6 年度から実施している「返礼品提供事業者との勉強会」については、納税制度改革の理解や中間代行業者による返礼品の魅せ方を学んでいる。これは、八雲町のふるさと納税の基盤づくりにも寄与しているものと考ええる。

本市においても、ただ単に返礼品を増加させていくだけでなく、返礼品の資源にも目を向けながら、取り組んでいく必要があるのではないかと考える。

## 【はこだてみらい館】函館市

### ① 日時

令和7年11月14日（金） 10時00分から11時00分まで

### ② 訪問先 はこだてみらい館

（函館市若松町20-1 キラリス函館3F）

### ③ 説明者 はこだてみらい館 望月剛

### ④ 調査項目 はこだてみらい館・はこだてキッズプラザについて

### ⑤ 視察先の選定理由や目的

本市にも同様の施設「こまきこども未来館」を有しているが、他市町のこども育成施設を見学・研修することで、今後新たな施設機能・設備や施設運営の手法などを研修することを目的とした。

### ⑥ 視察項目の概要説明

（導入経緯・内容・実施状況・効果・課題等）

導入経緯：前市長政策であった「駅前市有地での民間商業施設と子どもおもしろ館、キッズセンターなどの公共施設合築による集客施設の建設」に基づき、施設整備の検討を開始し、後に「函館市中心市街地活性化基本計画」において低利用・老朽化が著しいビルを含む街区を一体的に再開発し、商業施設・集合住宅・子育て世代活動支援施設を整備し、平成28年10月に「はこだてみらい館」「はこだてキッズプラザ」を開設した。

H25.3「函館市中心市街地活性化基本計画」策定（内閣総理大臣認定）

H26.5 保留床の取得

H26.5 整備設計等プロポーザルにより事業者選定

H26.8 整備設計等業務委託

H26.9 整備設計等検討委員会開設

H27.7 施設名称を「はこだてみらい館、はこだてキッズプラザ」に決定

H27.9 はこだてみらい館条例、はこだてキッズプラザ条例制定・公布

H27.10 コンテンツ制作業務委託

H27.11 指定管理者の募集、両館の条例施行規則の制定、公布

H28.2 指定管理者候補者を選定 ※

H28.3 指定管理者を指定

H28.9 保留床

H28.10 施設オープン

※施設整備設計等受託コンソーシアム「ソニービジネスソリューション（株）、ソニーピーシーエル（株）、（株）こどもクラブ、（株）DONACO.」により設計運営が行われている。

設置目的：市民および観光客に対して先進的な技術を活用することその他の創意工夫を生かした体験及び交流の場を提供することにより、中心市街地のにぎわいの創出を図ることを目的とし、こどもとその保護者に対して、遊びを通じて交流する場、支援する場を提供し、中心市街地のにぎわいの創出を図ることを目的としている。

施設概要：【ビル全体】

|              |                                                                           |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------|
| 名称           | キラリス函館                                                                    |
| 所在地          | 函館市若松町 20 番地 1 号                                                          |
| 敷地面積         | 2,795 m <sup>2</sup>                                                      |
| 建物延面積        | 17,777 m <sup>2</sup>                                                     |
| 構造           | 鉄筋コンクリート造 地下 1 階地上 16 階建                                                  |
| 各種施設         | 地下 1 階～地上 2 階、店舗・業務<br>3 階、はこだてみらい館<br>4 階、はこだてキッズプラザ<br>5 階～16 階、分譲マンション |
| 施行者          | （株）NA アーバンデベロップメント                                                        |
| 【はこだてみらい館】   |                                                                           |
| 施設面積         | 1,325.09 m <sup>2</sup>                                                   |
| 施設内容         | 多目的ホール、シアター、テラス、ラボラトリー<br>360 スタジオ他                                       |
| 【はこだてキッズプラザ】 |                                                                           |
| 施設面積         | 1,203.22 m <sup>2</sup>                                                   |
| 施設内容         | プレイグラウンド、乳幼児コーナー、託児室、授乳・<br>おむつ替え室、相談室他                                   |
| 施設利用料        | 300 円 就学前の子どもは無料<br>定期券(3 ヶ月・6 ヶ月)・団体割引などもあり                              |

| 利用者数           | 使用料収入        |
|----------------|--------------|
| H28 年 19,687 人 | 7,164,580 円  |
| H29 年 42,990 人 | 15,678,330 円 |
| H30 年 63,134 人 | 12,090,590 円 |
| R 1 年 66,075 人 | 11,964,340 円 |
| R 2 年 32,651 人 | 5,483,780 円  |
| R 3 年 47,529 人 | 8,416,550 円  |
| R 4 年 55,675 人 | 11,123,950 円 |
| R 5 年 58,900 人 | 11,742,540 円 |
| R 6 年 66,476 人 | 13,448,680 円 |

#### ⑦ 議員からの主な質疑

質 1 年間の利用者数はどうか？

答 1 昨年は 6 万 6 千人、今年は 7 万人を超える見込み。

質 2 小牧にも同じような巨大スクリーンがあり、触ることで色々と反応するが、この画面は「タッチ」することで反応する画面か？

答 2 本市のスクリーンは触らせないようにしている。

質 3 本施設の建物の所有はどこか？

答 3 函館市の持ち物である。

質 4 来場者は市内・市外どちらが多いか？

答 4 東北地方の中高生が修学旅行できてくれるので、市外の利用者が多い。

#### ⑧ 議員の意見

- ・300 円の利用料は安い。市外からの来場者は値上げしても良さそう。
- ・巨大スクリーンで函館市の色んな魅力を投影しているのは良かった。
- ・3D 映像がとてもリアルで大人も楽しめる。
- ・孫を連れてまた訪問したい。

⑨ 考察（小牧市への反映）

人口の違い、立地条件の違いもあるが、本市の「こまきこども未来館」も十分、本市のアピールポイントになると確信した。

が、小牧にはない「名物」を活用した映像や、観光地ならではの画像があったのは羨ましくも思う部分であった。

また、はこだてみらい館は近隣にコワーキングスペースがないので、ビジネスマンも利用されるということもあり、本市の施設でもなにか活用できないか検討してみるのも良いかも知れない。

こういったことも含めて本市のこども未来館も、今後展示物や施設のバージョンアップなどしていく際には、はこだてみらい館で見聞きした内容を参考にして、反映できるようにしていきたいと考える。